

各位

2023年度サステナビリティ活動の取り組み進捗状況ご報告

株式会社ユニカフェ（本社：東京都港区、代表取締役社長：芝谷博司）は、企業理念に掲げる「人と環境に優しい企業」を目指し、「Think Globally As a Roastery（コーヒー焙煎のプロとして、地球規模で考えよ）」のスローガンのもと、サステナブルな活動に取り組んでおります。

2023年度におけるサステナビリティ活動の取り組み進捗状況は、以下の通りです。

（1）ベトナムへの2回目の苗木寄贈の実施と苗木寄贈プロジェクトの名称決定

当社グループでは、生産国支援の取り組みとして、昨年度よりコーヒーノキの苗木寄贈を実施しております。2023年5月、昨年に引き続きベトナムのGia Lai省内172世帯のコーヒー生産者に対して、34,400本の苗木寄贈を実施いたしました。

寄贈時には、苗木の特性や植え方、手入れの仕方についての指導を行いました。苗木からコーヒーが収穫されるまでには数年かかりますが、今後も農家をサポートし、コーヒーの安定供給に努めてまいります。

（現地での寄贈の様子）



なお、本プロジェクトにつきまして、当社グループ独自のプロジェクトであることを明確にするため、プロジェクト名称及びロゴマークを決定いたしました。

プロジェクト名称：「Seeding for the future～未来への種まき～」

プロジェクトロゴマーク：

※商標出願中

■ロゴマーク基本デザイン



2050年以降も変わらずコーヒーのある未来を作る、小さな活動がやがて大きな活動になるという意味が込められております。

今後、本プロジェクトにご賛同いただいたお取引先様とともに、苗木寄贈エリアの生豆を使用し、パッケージにプロジェクトロゴマークを配した製品の開発・販売を進めてまいります。

（２）神奈川総合工場に太陽光発電設備を導入

カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの一環として、2023年8月に神奈川総合工場に太陽光発電設備を導入いたしました。2022年9月に同工場で使用する全電力の実質再生可能エネルギー由来電力への切り替えを実施したことに続き、太陽光発電設備を導入することにより、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

【目的】

当社では、2030年までのカーボンニュートラルの実現を目標に掲げています。第一の施策として、実質再生可能エネルギー由来の電力を採用したことにより、同工場で使用する電力から排出されるCO₂が実質ゼロとなりました。この度、第二の施策として、自家消費型太陽光発電設備を設置する事により、再生可能エネルギーの活用を促進してまいります。

【太陽光発電設備の内容】

今回、当社が採用した太陽光発電設備の内容は以下の通りです。

- （１）設置場所 神奈川総合工場 工場エントランス部 庇部上部
- （２）施工枚数 16枚（発電能力：6.64kW パワーコンディショナー対応：4.95kW）

※1. 上記内容は、直射日光を浴びた状態での発電能力です。

※2. 同工場の事務所エリアにおいて約400本使用している直管LEDランプ（12.6W/本）の使用電力量に相当します。



(3) 「交通事故死ゼロキャンペーン」に参加

秋の全国交通安全運動期間中の、「交通死亡事故ゼロを目指す日」（毎年9月30日）にあわせ、2023年9月29日に厚木警察署が実施した「交通事故死ゼロキャンペーン」に参加しました。

本取り組みへの参加は、今年度で3回目となりました。当日は、厚木警察署や地域交通安全活動推進員の方々とともに、当社より寄贈した、無事故を祈る思いとコーヒーをかけたワンドリップコーヒー「無事故ーヒー」800杯分を地域の皆様へ配りながら安全運転の呼び掛けに参加しました。今後も地域社会への貢献と、地域の皆様との交流を継続的に行ってまいります。

(厚木警察署での寄贈式の様子)



以上

—本資料に関するお問い合わせ先—

株式会社ユニカフェ 取締役執行役員管理本部長 新述孝祐

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番26号

[TEL:03-4416-8800](tel:03-4416-8800) FAX:050-3156-2486